



令和 7年 1月 28日

報道機関 各位

オーラルフレイルの予防で、健康寿命を目指そう！

【第123回島根大学サイエンスカフェ 2/7(金)開催】

◆本件のポイント！

口腔の健康状態と要介護や死亡との関連について、島根大学が県歯科医師会と実施した共同研究から、客観的な咀嚼能力の影響が大きいことが明らかになりました。研究成果を紹介しながら、オーラルフレイルと健康長寿について考えてみます。

◆本件の概要

「島根大学サイエンスカフェ」は、社会の様々な課題の解決や持続的な発展について参加者と研究者との「対話」と「協働」の場として発展させるべく、「島根大学サイエンスカフェー島根からつながり！SDGsー」をテーマに開催しております。

Zoomによるオンライン方式で開催いたします。

◆概要内容

講師：矢野 彰三 准教授(島根大学 医学部臨床検査医学講座)

日時：令和7年2月7日(金) 16:00～17:10

会場：Zoomによるオンライン開催

その他：先着100名、参加無料、事前申込み必要

申込期限：令和7年2月7日(金) 13:00

▼申し込み方法など、詳しくはこちらをご覧ください

<https://www.shimane-u.ac.jp/docs/2025010600017/>



◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 研究・地方創生部 研究推進課

TEL：0852-32-6056

E-mail：rsd-kenkyu[at]office.shimane-u.ac.jp



【添付資料： ■あり(1枚) □なし】

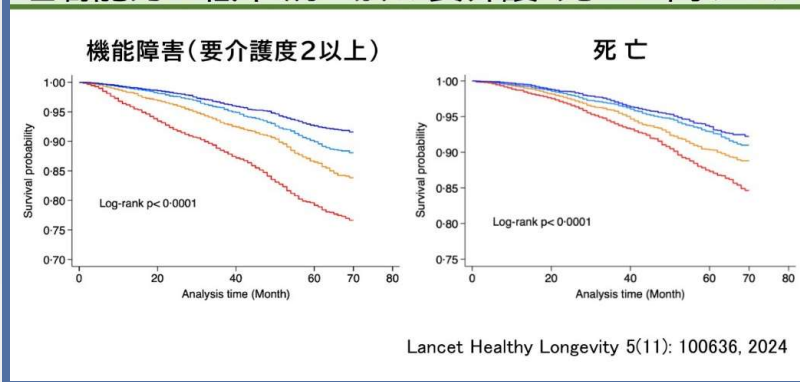
島根大学サイエンス・カフェ 島根からつなぐ！SDGsー
第123回島根大学サイエンスカフェ

3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
17 パートナーシップで目標を達成しよう

健康長寿を目指した オーラルフレイルの 予防・改善に向けて

わが国では75才以上の後期高齢者を対象に歯科口腔健康診査を推奨しています。しかし、口腔の健康状態と要介護や死亡との関連についてのエビデンスは充分ではありません。島根大学が県歯科医師会と実施した共同研究から、13項目の口腔指標の悪化がこれらの発生と関連しており、特に客観的な咀嚼能力の影響が大きいことが明らかになりました。研究成果を紹介しながら、オーラルフレイルと健康長寿について考えてみます。

咀嚼能力の低下(青→赤)は要介護・死亡の高リスク



Zoomによる
オンライン開催
先着100名・参加無料



こちらから
お申込み
いただけます。



<https://forms.office.com/r/8nZBPUHBPA>

申込締切 2.7(金) 13:00

講師 **矢野 彰三** 准教授
(島根大学医学部臨床検査医学講座)

日時 **2025. 2. 7 (金)**
16:00~17:10

講師紹介

専門分野 : ライフサイエンス / 内科学一般
研究テーマ : 健康長寿を目指した
オーラルフレイル予防・改善の推進 等

司会 : 服部 大輔 准教授
(島根大学 地域未来協創本部)

お問合せ :
研究・地方創生部 研究推進課
0852-32-6056